

第4節 救急活動

～一人でも多くの命を救うために～

1 救急活動体制

■ 図表2-4-1 救急活動体制・統計（要約）

救急活動体制（要約）（令和8年4月1日現在）	
○ 救急隊員	3,025人（うち救急救命士資格者2,405人）
○ 救急隊	279隊（全隊高規格救急車）
○ デイタイム救急隊	18隊（全隊高規格救急車）
○ 非常用救急車	99台

■ 図表2-4-2 救急活動全体のフロー



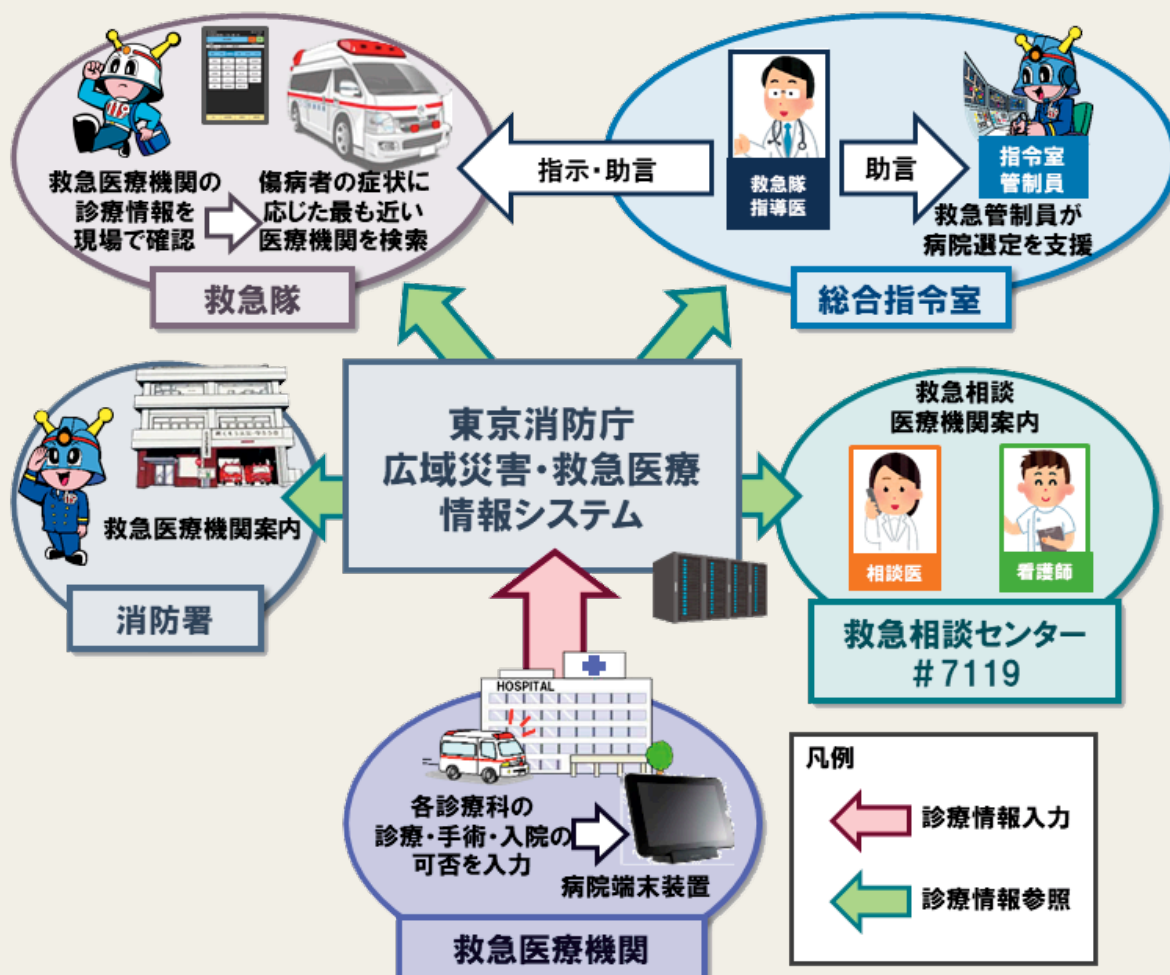
2 救急医療機関との連携体制

救急医療機関には病院端末装置が設置され、診療情報（各診療科の診療・手術の可否、病床の有無）がリアルタイムに表示されます。情報は、災害救急情報センター、東京消防庁救急相談センター、消防署及び救急隊のそれぞれに配置された端末装置で確認でき、救急隊の病院選定をはじめ、東京消防庁救急相談センターや消防署で

の医療機関案内に活用されています。

また、災害救急情報センターには救急医療の専門知識を持った「救急隊指導医」が24時間体制で勤務しており、救急隊に救急処置の指示や医学的見地に基づく助言を行っています。（図表2-4-3）

■ 図表2-4-3 救急医療情報システム



3 救急車の適時・適切な利用

令和7年の救急出場は、931,910件で、119番入電から現場に到着するまでの時間は、平均で12分7秒でした。出場件数が増加すると救急車が到着するまでの時間が延びてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。このことから東京消防庁で

は、緊急に医療機関で受診する必要がある傷病者に遅延なく救急車を向かわせることができるように、救急車の適時・適切な利用に繋がる取り組みを行っています。(図表2-4-4参照)

(1) 東京版救急受診ガイド

東京版救急受診ガイドは、ご自身の症状を入力したり、質問に答えることで病気やけがの緊急性の有無、受診の必要性及び受診科目のアドバイスを受けられるサービスです。

Web版は東京消防庁ホームページ等からアクセスでき、冊子版は各消防署において配布しています。

令和8年3月2日よりAIを導入した新たな「東京版救急受診ガイド(Web版)」を公開しました。



▲ 東京版救急受診ガイド (Web版)



▲ 東京版救急受診ガイド (Web版) はこちら



▲ 東京版救急受診ガイド (冊子版)



▲ 東京版救急受診ガイド・#7119ポスター

東京版救急受診ガイド(Web版)をリニューアル

テキストまたは音声による症状の入力が可能

チャットボット形式を採用し、テキストまたは音声により症状を直接入力することができるようになりました。また、選択肢から症状を選ぶことも可能です。

1 病気やけがの症状について

症状を入力してください。(最大200文字)
病みの位置や期間などを具体的に記入することで精密な判定をすることが出来ます。

症状を具体的に記入してください

音声入力 クリア

入力例
昨日から息が苦しく、頭痛薬を飲んでも治まりません。熱も38度を超えました。

戻る 入力内容の確認へ

症状を入力ではなく選択肢から選びたい方はこちらを選んでください。

≡ 症状を選択肢から選ぶ

症状の入力

2 症状を選ぶ

息が苦しい

呼吸がゼーゼーする

ぜんそく発作

動悸(胸がドキドキする)

意識がおかしい

けいれん

頭痛

症状の選択

緊急度判定から医療機関検索までを一本化

同一サイト上で、緊急度判定から医療機関検索までを一連の流れで利用できるようになりました。緊急度判定の後に医療機関検索を行った場合は、症状に対応する科目に自動でチェックが入ります。医療機関検索では、これから受診可能な医療機関が直近順で表示されます。GPS 機能を活用し、現在地から医療機関までのルート案内も可能です。

3 緊急度判定

これから 東京版 救急受診ガイド(Web版) English >

緊急度判定結果

これからの医療機関を受診してください。

診療科: 内科、救急科

6〜8時間以内に受診に行かれた方がいいと思われます。お示した診療科を参考にしてください。

ご連絡の際は、次の番号をお伝えください。

6277-0677

救急相談センター(7119)へ電話する

AI を介した緊急度の判定

4 医療機関検索

現在位置を入力してください。

大手町駅

位置情報を取得

来院予定日時を入力してください。

診療科目を選択してください。最大5科目選択可能です。

救急科 内科 外科 小児科

小児外科 整形外科 眼科 形成外科

呼吸器内科 呼吸器外科 産科 耳鼻咽喉科

循環器内科 消化器内科 消化器外科

神経内科 脳神経外科 皮膚科 皮膚科

婦人科 歯科・口腔外科

医療機関を検索する

医療機関の検索

5 医療機関検索の結果

これから 東京版 救急受診ガイド(Web版) English >

救急病院

お近くの救急病院を案内します。

必ず救急病院へ連絡し、受診可能であることを確認してから向ってください。

地図をタップすると現在地からのルート案内します。

〇〇総合病院 (300m)

ホームページを見る

東京都〇〇区△△△△△△

03-xxxx-xxxx

FamilyMart Kabukicho Police Station

△△△△△△

××記念病院 (500m)

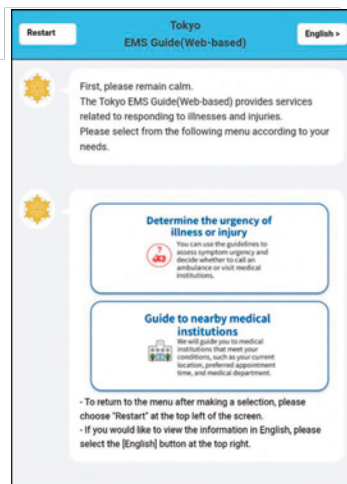
ホームページを見る

東京都〇〇区〇〇〇〇〇〇

03-xxxx-xxxx

医療機関検索の結果

東京版救急受診ガイド (英語・Web版)



(2) [#7119] 東京消防庁救急相談センター

急な病気やけがをした場合に、病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った場合の相談窓口として「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。東京消防庁救急相談センターでは、これらの相談に相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者の職員）が24時間体制で対応しています。

＜主なサービス＞

- 症状に基づく緊急性のアドバイス
- 受診の必要性に関するアドバイス
- 医療機関案内

＜救急相談としてお受けできない内容＞

- 健康相談
- 医薬品情報に関すること（誤飲を除く）
- セカンドオピニオンに関すること



救急相談は日本救急医学会の監修により東京都医師会が編集したプロトコールに基づいて看護師が対応し、緊急度を判断します。緊急度は、5段階に分類されます。

救急相談センターは、公益社団法人東

京都医師会、救急医学に関する専門医、東京都保健医療局、東京消防庁が運営しており、検証や協議の場として4者で構成する「東京消防庁救急相談センター運営協議会」が設置されています。

救急相談における緊急度の類型	
赤カテゴリー	『救急車』による緊急受信
橙カテゴリー	1時間以内に緊急自力受診
黄カテゴリー	6時間以内に早期自力受診
緑カテゴリー	当日又は翌日の通常診療時間内に自力受診
青カテゴリー	経過観察



▲ 東京消防庁救急相談センター広報動画

■ 図表2-4-4 救急車の適時・適切な利用の促進広報



▲「救急車の適時・適切な利用の促進」広報動画

4 応急手当の普及体制

傷病者を救命するためには、救急隊到着までの救急現場に居合わせた人（バイスタンダー）による応急手当が極めて重要です。また、震災時等において、多数の傷病者が発生するような場合に備えるためには、自主救護能力の向上も大切であることから、都民を対象として応急手当の知識・技術の習得を目標に積極的に普及業務を推進しています。

なお、救命講習の一部を公益財団法人東京防災救急協会に委託して実施しています。

また、各消防署では小学校中高学年の生徒や普通救命講習を受講したいが時間が取れない方を対象に救命入門コース（45分、90分）もありますので、各消防署にお問い合わせください。（図表2-4-5）

■ 図表2-4-5 主な救命講習

応急手当を学ぶコース	3 時間	普通救命講習	心肺蘇生（成人）、AED の使用方法、窒息の手当、止血の方法などを学ぶコース
	4 時間	普通救命（自動体外式除細動器業務従事者）講習	
	2 時間 20 分	普通救命再講習	
	2 時間	普通救命ステップアップ講習	過去 12 か月以内に「救命入門コース（90 分）」を受講した受講者で、救命技能認定を希望する者が受講する講習
応急手当とけがの手当などを学ぶコース	8 時間	上級救命講習	心肺蘇生（成人・小児・乳児）、AED の使用方法、けがの手当、傷病者管理、搬送法などを学ぶコース ※普通救命（自動体外式除細動器業務従事者）講習の内容を含む。
	3 時間	上級救命再講習	
	5 時間	上級救命ステップアップ講習	過去 12 か月以内に「普通救命講習」「普通救命再講習」を受講した受講者で、上級救命技能認定を希望する者が受講する講習
救命講習などの指導者コース	24 時間	応急手当普及員講習	事業所の従業員などを対象とした応急手当の指導者を養成するコース
	3 時間	応急手当普及員再講習	

このほか、患者等搬送乗務員や救急代理通報の現場派遣員に対する講習も行っています。講習に関する問い合わせや申し込みは、公益財団法人東京防災救急協会、最寄りの消防署、消防分署、消防出張所で行っています。

キュータの

Q & A

Q 応急手当をして、
症状が悪化したら、
責任を問われるの？



A 一般的に民法及び刑法の
解釈では、善意で行った救命行為
であると認められた場合は罪に問わ
れることはないよ。

応急手当が必要な場合は、勇気
を出してやってみてね！

また、東京消防庁では、応急手
当を行うための講習を行っているの
で、積極的に受講してね！



コラム

救急隊員

～助けを求める人にとって、より頼もしい救急隊員に～

救急隊員として活動し始めてから間もなく、幼い男の子が熱湯を浴びて広範囲のやけどを負った現場に出場しましたが、その現場で私は何もできず、自分の知識と技術の未熟さを痛感し、悔しい思いをしました。その経験をしてから、より一層、知識と技術の向上に努め、入庁当初から憧れである救急救命士になるため努力を重ねました。自らの手で命をつなぎとめることができたときのやりがいと達成感はとても大きく、感謝の言葉をもらったときは、救急救命士になってよかったと心から思いました。



5 患者等搬送事業者

民間による患者等搬送事業は、緊急性の認められない転院搬送^{*}、入退院、通院等に際し、寝台または車椅子を備えた車両により搬送を行う事業です。高齢社会の進展等に伴い需要が年々増加する傾向にあります。東京消防庁では、都民が安全に安心して利用できる患者等搬送事業者(通称「民間救急」)を育成するため、平成 19 年 10 月 1 日から患者等搬送事業者に対する認定表示制度の条例化を図り、一定の基準に適合する事業者を東京消防庁認定事業者として認定しています。令和 8 年 3 月末現在、338 事業者を認定しています。

また、患者等搬送事業者の利用を促進し、救急車の適正な利用を推進するため、平成 17 年 4 月に公益財団法人東京防災救急協会に東京民間救急コールセンターが設置されました。コールセンターでは、患者等搬送事業者及びサポート Cab (救命講習を修了した乗務員が乗務するタクシー) の配車予約を受け付け、利用者の利便性の確保を図っています。(図表 2-4-6)

※「転院搬送」とは、医療機関からの要請に応じて、当該医療機関の管理下にある傷病者(外来受診または入院中の患者等)を、医療上の理由により他の医療機関へ搬送するために救急隊が出場するものです。

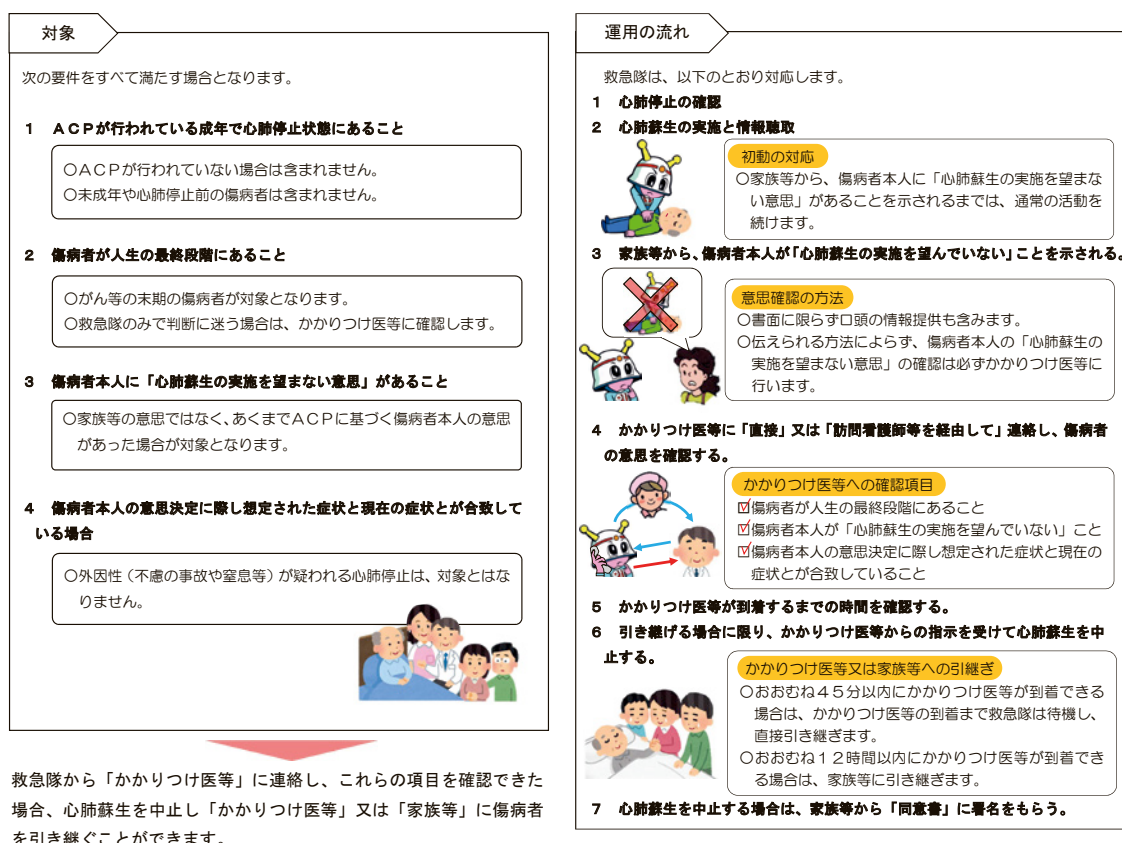
■ 図表 2-4-6 民間救急とサポート Cab

対象の方・車両別	
「歩行不能の方」  患者等搬送事業者 (民間救急)	入院・通院や一時帰宅の時に 引越し時のご病気の人の移動に リハビリ・温泉治療などに出かけるときに 病院から病院への転院の時に 空港や駅から病院や自宅へ移動する時に
「歩行可能の方」  サポート Cab	通院の時に 病院からの帰宅・退院の時に 外出の時に 予定された入院の時に 病院から病院への転院の時に

コラム

心肺蘇生を望まない傷病者への対応について

東京消防庁では、令和元年12月16日から、救急隊が家族等から書面又は口頭により傷病者本人に「心肺蘇生の実施を望まない意思」があることを示された場合は、かかりつけ医等に連絡し、一定条件下で心肺蘇生を中止し、傷病者を搬送することなく「かかりつけ医等」又は「家族等」に引き継ぐことができるものとなりました。主な概要は以下のとおりです。



※ACP（アドバンス・ケア・プランニング：愛称「人生会議」）

医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて傷病者が医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思として人生の最終段階における医療・ケアの内容を事前に決めるプロセスのことです。